

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 9 日 (2005.6.9)

【公開番号】特開 2002-75287 (P2002-75287A)
 【公開日】平成 14 年 3 月 15 日 (2002.3.15)
 【出願番号】特願 2001-265545 (P2001-265545)
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 1 J 61/88

H 0 1 J 61/20

【F I】

H 0 1 J 61/88 C

H 0 1 J 61/20 D

H 0 1 J 61/20 V

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 9 月 2 日 (2004.9.2)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

内部に一对の電極が設けられており、点灯動作電力を WL (W)、かつ前記電極間距離を L (mm) とした場合、 $WL/L \geq 88$ の関係を満足する発光管内に、始動用希ガスとともに点灯動作中に遊離ハロゲン Cl , Br , I となる封入物および、前記発光管の単位体積当たり $100 mg/cm^3 \sim 350 mg/cm^3$ の水銀が封入されており、前記遊離ハロゲン Cl , Br , I が前記発光管内に $10^{-7} \sim 10^{-5} mol/cm^3$ の範囲で存在し、前記発光管の内径を (mm) とした場合、 $1.2 / (WL \times 10^{-2} + 3.2) \geq 1.6$ の関係を満足することを特徴とする高圧水銀放電ランプ。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0006
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0006】

【課題を解決するための手段】

本発明の高圧水銀放電ランプは、内部に一对の電極が設けられており、点灯動作電力を WL (W)、かつ前記電極間距離を L (mm) とした場合、 $WL/L \geq 88$ の関係を満足する発光管内に、始動用希ガスとともに点灯動作中に遊離ハロゲン Cl , Br , I となる封入物および、前記発光管の単位体積当たり $100 mg/cm^3 \sim 350 mg/cm^3$ の水銀が封入されており、前記遊離ハロゲン Cl , Br , I が前記発光管内に $10^{-7} \sim 10^{-5} mol/cm^3$ の範囲で存在し、前記発光管の内径を (mm) とした場合、 $1.2 / (WL \times 10^{-2} + 3.2) \geq 1.6$ の関係を満足する構成を有する。